



Child
Friendly
Cities
Initiative

unicef 
for every child

ユニセフ日本型『子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）』

安平町は、令和3（2021）年12月17日、ニセコ町・宮城県富谷市・東京都町田市・奈良県奈良市とともに、日本で初めてのCFCI実践自治体となりました。

少し期間が空いてしまいましたが、4月号で『子どもにやさしいまち チェックリスト』の項目を簡単に紹介しました。今月は、その『チェックリスト』を使って実際に評価（2021年度の取り組みの振り返り）をしましたので、その内容を簡単に紹介します。

子どもにやさしいまち チェックリストによる評価

令和3（2021）年度の中で、子どもたちにやさしいまちづくりが

- どのように進められているのか
- その年の進み具合はどうか

を振り返った結果は、下表のとおりです。

チェックリスト10項目	細項目数	◎	○	△/ー	◎割合
子どもの参画	7	5	2		71%
子どもにやさしい法的枠組み	5	2	2	1	40%
子どもの人権を保障する施策	9	8	1	0	89%
子どもの人権部門または調整機構	3	3	0	0	100%
子どもへの影響評価	6	4	2	0	67%
子どもに関する予算	4	2	1	1	50%
子ども報告書の定期的発行	3	0	1	2	0%
子どもの人権の広報	5	2	2	1	40%
子どものための独立したアドボカシー*	4	3	0	1	75%
当該自治体にとって特有の項目	5	4	1	0	80%

◎：よくできた項目 ○：できた項目 △/ー：できていない項目

*アドボカシー：子どもの権利を意識した企業（会社）などによる活動

Child
Friendly
Cities
Initiative

頭文字をとって「CFCI」と呼ばれます。
また、「子どもにやさしいまちづくり事業」として
日本語訳が当てられています。